

## 火山島、ピコ島

について



写真: Maurício de Abreu

### 火山島、ピコ島

448km<sup>2</sup>の面積を持つピコ島 (Pico) はアソールズ諸島で2番目に大きな島です。海拔2,351mの「ピコ」と呼ばれるポルトガルで最高峰の山がそびえる島でもあります。火山島として紹介されることも多いピコ島は、いわゆる「三角地域の島々」の3点の1つであり、この群島の中央群の最南端になっており、ファイアルからわずか6kmの距離です。

ピコ島の暑く、乾燥した気候とミネラルが豊富な溶岩土壌と、黒い石の見事なモザイク模様をなすこの土地の構成 – 「クライス」(currais) (区画) - は、ブドウ、主にヴェルデーリョ (Verdelho) の品種の栽培で大きく成功することを決定付けました。次第に、この島のワインとブランデーは島の内外で高く評価されるようになり、ヴェルデーリョは国際的にその名を知られるようになりました。長くヨーロッパとアメリカに輸出されてきましたが、当時はロシア皇帝の食卓でも目玉となるほどでした。

現地の人々が「ラジド」(lajidos) すなわち「クッキー・アイランド」と呼ぶこの島の風景に点在する広大な溶岩原は、ピコ島のブドウ園文化の風景を構成しており、2004年にユネスコにより世界遺産に登録されました。ラジド・ダ・クリアソン・ヴェーリャとラジド・デ・サンタ・ルジアはその代表例です。

黒い溶岩の台地には、「リヘiras」(rilheiras) と呼ばれるブドウと樽を運ぶ牛車の車輪が残したわだちがあり、一見の価値があります。また、海岸沿いの港や入り江には、「ローラ-ピパス」(rola-pipas) と呼ばれる浸食された斜面があるため、ワインの樽を転がして簡単に船に乗せることができました。今でも、ワイン産業の証として残されています。

大西洋で3番目に大きな火山であるピコ山の巨大な火山丘は、この島の風景にどっしりとその存在を誇示しています。その主な火口内には、ピキーニョ (Piquinho) という溶岩の火山丘があり、その上にある噴気孔が常に蒸気を放出して、ここが火山であることを思い出させてくれます。この火山への登山口がある海拔約1250メートルの地点から、この島のほとんどを見渡すことができます。また、近くにあるファイアル (Faial)、サン・ジョルジェ (São Jorge) も見ることができます。頂上への登山は骨が折れますが、素晴らしい、ここだけの景色を見渡せばその疲れも吹き飛びます。天気の良い日は、グラシオーザ (Graciosa) とテルセイラ (Terceira) の島々を一望できるというオマケまで付きます。

世界で観光できる最大の溶岩洞の1つがピコ島にあります。グルータ・ダス・トーレス (Gruta das Torres) 内に広がるこの溶岩洞は、5kmの長さがあり、さまざまな種類の溶岩鍾乳石と石筍、そしてうねった壁で飾られています。

ジオツーリズムの愛好者の方には、他にも見逃せない場所があります。frey・マティアス (Frei Matias)、シルヴェイラ (Silveira)、およびモンタニエイロス (Montanheiros) のフルナス (Furnas) (地熱大地)、サンタ・ルジア、プラインャ (Prainha) とサン・ジョアン (S. João) の「ミステリー」(Mistérios de Santa Luzia) には是非足を運びましょう。海中での火山噴火による溶岩で形成され、この島に加えられました。また、アクロス・ド・カショーロ (Arcos do Cachorro) は、無数のトンネルや洞窟により穴があいた溶岩の見事な集合体で、ここから海水が通って大渦巻を生みます。

他の見るべき場所では、カピタン (Capitão)、カイアド (Caiado)、そしてパウル (Paul)

の湖があります。また、島を北に向かって走る道路上にあるテラ・アルタ (Terra Alta) 展望所からは、サン・ジョルジェ島、そしてピコ島の豊かな森林が織り成す風景を見ることができます。

ピコは、力強い捕鯨の伝統を持つ島です。この島はマダレーナ (Madalena)、サン・ロケ (São Roque)、ラジェス (Lajes) という3つの地区に分かれています。そして、アソーレス諸島の他の島と同様、その建築物の遺産は主にさまざまな教会区の教会や礼拝堂に集中しています。それらは、ヴィラ・マダレーナ (Vila Madalena) にあるサンタ・マリア・マダレーナ教会 (Igreja de Santa Maria Madalena)、サン・ロケ・ド・ピコ (São Roque do Pico) にあるサン・ロケ (São Roque) とサン・ペドロ・デ・アルカンタラ (Convento e Igreja de São Pedro de Alcântara) の修道院と教会、ラジェス (Lajes) にあるノッサ・セニョーラ・ダ・コンセイソン (Nossa Senhora da Conceição) およびサン・ペドロ教会 (Ermida de São Pedro) などですが、他にも多くの建築物があります。

ピコ博物館 (Museu do Pico) も訪問する価値があります。ここは次の3つの部門に分かれています。ラジェス (Lajes) の捕鯨博物館 (Museu dos Baleeiros)、サン・ロケ (São Roque) の捕鯨産業博物館 (Museu da Indústria Baleeira)、そしてマダレーナ (Madalena) のワイン博物館 (Museu do Vinho) です。いずれも、ピコ島の歴史における重要な時代を紹介しています。ワイン博物館は旧カルメル修道院の中にあります。ブドウ園の見学、ワインの試飲などのサービスを提供しており、9月には、ブドウの収穫に参加する機会があります。

自然の豊かさとは別に、ピコ島は魚とシーフードを一番の基本とするすばらしい美食の伝統も提供しています。そのハイライトは有名なカルデイラーダ (caldeiradas) (ブイヤベース)、ヴィーニョ・デ・シエイロ (vinho de cheiro) で煮込んだ蛸のシチュー、モーリャ・デ・カルネ (molha de carne) (ロースト肉の名物料理)、そして魚のスープです。鮮やかな赤色の果肉のイチジクもまた有名です。さらに、乳香の花から作られるハチミツとピコ・チーズ (Queijo do Pico) - 牛乳から作られる柔らかなチーズ (サン・ジョアン (São João) とアリフェ (Arrife) が特に有名) - もあります。これらはすべて、もちろん、ヴェルデーリョ・ワイン、またはこの島で非常に評価されている赤と白のワインとともにお腹の中に入ります。

ピコは力強い捕鯨の伝統を持つ島です。また、クジラの骨と歯で作ったさまざまな工芸品、魚の鱗で作った麦藁帽子や花、捕鯨船の木製ミニチュアなどの製品もすべてお土産に喜ばれます。

## アクティビティ

ホエール・ウォッチングはこの島の捕鯨の伝統が自然な形で広がり、現代に受け入れられています。ピコ島の海水はセーリングやカナーに適しているため、ボートに乗ると、入り江が海岸に切り込んでいる様子を見ることができます。これは、ロック・フィッシングやダイビングに理想的な環境です。

ファイアル海峡のピコよりの入り江は、完璧なスキューバ・ダイビング・スポットとして世界的に知られています。最も見かける魚の種類は、バラクーダ、鯉、マグロですが、ハタ、フエダイ、ブダイなどの現地の魚も見ることができます。海中での溶岩形成は、洞窟、トンネル、拱道があって、壮観です。スキューバ・ダイビングで最も人気のある季節は、アカエイの到来を目撃できる6月です。

ピコ島には砂のビーチがありません。しかし、泳ぎたい人には火山岩で作られた天然のプールがあります。メキシコ湾流により暖められた海水の温度にはいつも心地良い驚きがあります。

誰もがその山に登ってみたい気持ちになります。しかし、それには体力的かつ精神的な準備はもちろん、適切な靴と服装が必要です。登山にはガイドが付きます。また、GPSプレスレットの装着が義務付けられます。往復のツアーには最低4時間必要です。一部のツアー・オペレーターは山頂で一泊するプランを用意しているので、日没と夜明けの日光を楽しむことができます。

グルータ・ダス・トレスの溶岩洞では、この島の地下の世界を探検できます。備えが十分なビジター・センターが出発点です。観光は約1時間かかります。

この島の歩道、自転車用道路、そしてロバと馬用の道のネットワークは、適切に構成されているため、風景を静かに楽しむことができます。アドレナリンを放出させたい方には、マウンテン・バイクや四輪バイク、クロスカートによるツアーも常に用意されています。また、ロック・クライミングに挑戦してみるのもお勧めです。

## 祭り

島全体でお祝いされるエスピリト・サント祭 (Festa do Espírito Santo)

とは別に、ピコ島はセニョール・ボン・ジェズ・ミラグロソ (Senhor Bom Jesus Milagroso) (奇跡の主、イエス)

に特別な献身を掲げています。祭りは8月6日前後にサン・マテウス (São Mateus)

で開かれます。これらの祭りはブラジルから始まり、ボン・ジェズ・ミラグロソ教会 (Santuário do Bom Jesus Milagroso) の中に展示されている像に対する巡礼者の崇拜に基づくものです。

マダレーナ (Madalena) で開かれるこの地区の守護聖人のための祭り、サンタ・マリア・マダレーナ (Santa Maria Madalena) には、7月を盛り上げる宗教行事、スポーツや文化活動が含まれています。

サン・ロケ (São Roque) のカイス・デ・アゴスト (Cais de Agosto) では、コンサートと工芸品展示会やスポーツイベントが同時に開催されます。

ラジェス (Lajes) は、捕鯨ウィーク (Semana dos Baleeiros) がアソーレス諸島におけるこの重要な社会経済活動に参加している人々に敬意を表して行われます。夏の終わりに向かってさまざまなプログラムが用意されます。

9月になると、マダレーナの町は収穫祭 (Festa das Vindimas) の会場になり、アライアル (一般的な祝宴) とワインの文化に基づく民族的イベントが開かれます。

捕鯨船レースはピコ島では非常に象徴的なイベントです。このレースは定員6名の漕ぎ手が乗る木製の船が使われますが、数多くの祭りでいつでも開かれています。ピコ島はもちろん、他の「三角海域の島々」から集まった船乗り達の間で激戦が繰り広げられます。

### お役立ち情報

-空路では、ピコ島へ飛ぶ「SATA-Air Açores」の飛行機を利用。通常、テルセイラ島にあるプンタ・デルガダとラジェス空港から出発します。平均飛行時間はテラセイラから40分、サン・ミゲルからは60分です。

詳細：[www.sata.pt](http://www.sata.pt)

海路では、ファイアル(Faial) (15分) とサン・ジョルジュ (São Jorge) (30分) の島々から定期船が運航されています。所要時間は、利用する船会社により異なります。

詳細：

- [www.atlanticoline.pt](http://www.atlanticoline.pt)

### お役立ち情報

ピコ島とアソーレス諸島に関する詳細は、次のウェブサイトをご覧ください。 [www.visitazores.com/Pico](http://www.visitazores.com/Pico)

- 公共交通機関：

タクシー、車のレンタル会社、数多くの旅行会社が運営するツアーとは別に、ピコ島には公共交通機関のネットワークがあり、島のどこかに出るルートがいくつかあります。

北ルート

マダレーナ (Madalena) & サン・ロケ (São Roque) & ピエダーデ (Piedade)

南ルート

マダレーナ (Madalena) & ラジェス (Lajes) & リベイリンハ (Ribeirinha)

- ピコ自然公園 (Parque Natural do Pico)

これは、アソーレス諸島で最大の自然公園で、22の保護区があります。次の4つの環境センターがあります。カサ・ダ・モンターニャ (Casa da Montanha)、グルター・ダス・トレス (Gruta das Torres)

ピジター・センター、ブドウ園文化の風景のためのインタープリテーション・センター、モイーニョス・ド・フラデ (Moinho do Frade)

公園と歩道に関する詳細は、次のウェブサイトをご覧ください。

- [www.parquesnaturais.azores.gov.pt/Pico](http://www.parquesnaturais.azores.gov.pt/Pico)

- [www.trails-azores.com](http://www.trails-azores.com)

- Pico App

### ご存知でしたか？

- マロイソンス (maroiços) とは何か知っていますか？

ワインの栽培のために洗浄、整地した土地から出た石で作ったピラミッドです。ピコ島、特にマダレーナでよく見られます。これらは、クライス (currais) の壁を作るために使用される石です。

- エストレリニャス (Estrelinhas) とは何か知っていますか？

この島の小さな鳥です。その多くは体重がわずか5グラムで、頭に黄色の王冠をつけています。